

雲北陵月報

No. 425

令和3年1月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷



実りある一歩を

中学教頭 菅田修司

新年明けましておめでとうございます。皆様には、この正月に今年一年に託す目標や希望を新たに新春を迎えられたことと存じます。

今年の干支は辛丑(かのとうし)です。丑は「紐」という字で、「芽が種子の中に生じてまだ伸びることができない状態」を、辛は「新」という字に通じ、「新しい世代が生まれようとする状態」を表すことから、新たな生命のきざしを表す年であるようです。

さて、昨年は新型コロナウイルスに苛まれ、予測不能な事象にうろたえた一年でした。そして今なお私達の生活に大きな影響を与え続けています。しかし一年前と違って、何かがあります。それは何が大切か、何をすべきかがより明確になっていることです。依然として油断のない状況の中、周囲の人達を思いやり支えあう絆の大切さ、情報を収集・共有し、いち早く対処することの大切さなど、多くの人達が自覚してきました。

そういう意味で、この一年は新しい生活様式に変化していく一歩となる年になるといえます。

ところで、生徒の皆さんはコロナ禍の中、三十九日間もの長い休校や各種

大会・学校行事の中止という現実を受け止め、前を向いて進まざるを得ない、つらい体験を乗り越えてこられました。ありふれた平凡な生活が他に代えることのできない、かけがえのないものであるということを実感に考えさせられたことと思います。同時に、当たり前の裏には多くの人の支えがあることも気づかれたと思います。それらの経験は長い人生の中で必ず生かされるべきだと信じています。

二学期末、中学校では、本校高校を卒業され、世界なごきな選手権大会で優勝され、「自分と向きあう」と題して講演をしていただきました。その内容をここで紹介いたします。

「自分が大事に思っている人や周囲の人を大切にできるということは、まず自分を大切にできるということです。自分を大切にできるとは、挑戦しない自分に納得がいくかどうかという基準で物事を考え、失敗を重ねる覚悟を持つことができるということです。その覚悟が行動になり、やがて自信になり、自分を大切にすることにつながる。」

皆さんにとってこの一年が、将来に向けて実りある一歩となることを祈念し、年頭のご挨拶と致します。

男子バスケットボール部

令和2年度第55回島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月9～11日
於 松江市総合体育館

3年ぶり6回目の県新人戦制覇
中国新人大会出場決定！

2回戦	本校	101-83	浜田商業
準々決勝	本校	115-43	開星
準決勝	本校	90-63	松江北
決勝	本校	92-79	松江西

○大会総評

初戦の浜田商業戦では、前半から本校のスタイルが思うように発揮できず苦戦をしたが、試合をするたびに2年生を中心にチームがまとまり成長していった。決勝の松江西戦では、昨年県選手権で敗北を喫した雪辱を果たし、3年ぶり6回目の県新人大会優勝を成し遂げた。2月に岡山で行われる中国新人大会では、島根県代表として粘り強く頂点を目指して戦いたい。

当日は校長先生をはじめ保護者の皆様から応援いただき、有難うございました。(顧問 手島幹人)



卓球部

第48回全国高等学校卓球選抜大会

時 12月18～20日
中国地区予選会

中国選抜4年連続5回目の優勝！
全国選抜出場決定！

予選リーグ	本校	3-0	岡山東商業(岡山)
決勝リーグ	本校	3-0	広島工業(広島)

本校	3-0	明誠(島根)
本校	3-0	武田(広島)
本校	3-0	松徳学院(島根)
本校	3-0	柳井商工(山口)
本校	3-0	鳥取敬愛(鳥取)
本校	3-1	近大福山(広島)
本校	3-0	関西(岡山)

○大会総評

予選リーグから苦しい試合の連続であったが、主将の原田を中心としたチームワークで難局を乗り越えることができた。特に山場と考えていた関西戦で、本校らしい粘り強い試合ができたことは今後の自信に繋がる。3月に三重県で開催される全国選抜大会でも上位に進出できるように頑張りたい。



4連覇を果たした団体メンバー

(顧問 古瀬泰之)

令和2年度全日本卓球選手権大会

時 1月11～17日
於 大阪市中央体育館

〈ジュニア男子シングルス〉

2回戦敗退 原田哲多(24北陵)

杉浦大和(11北陵)

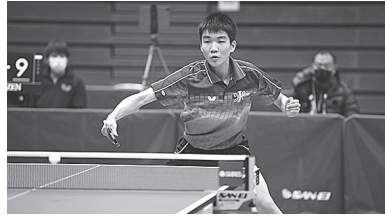
〈一般男子シングルス〉

3回戦敗退 山本 歩(32北陵)

原田哲多(24北陵)

○大会総評

ジュニア・一般の部ともに上位進出はならなかったが、一般の部で山本、原



3回戦に進出した山本歩

田が日本リーグで活躍している選手に勝利する等、練習の成果を十分に発揮した。今大会で明確になった課題を今後の練習で克服していきたい。

(顧問 古瀬泰之)

吹奏楽部

令和2年度島根県児童生徒学芸顕彰式

時 12月25日

於 市町村振興センター大会議室

令和2年度島根県児童生徒学芸顕彰式が行われ、本校からは日本管楽合奏コンテスト全国大会で最優秀賞に選ばれた吹奏楽部が学芸顕彰を受賞した。

式には、吹奏楽部副部長の恩田太陽(32北)が出席し、教育長より学芸顕彰を授与された。

この賞に甘んじることなく、更に飛躍できるよう変わらず精進していきたい。



女子バスケットボール部

令和2年度第55回島根県高等学校バスケットボール新人大会

時 1月9～11日

於 松江市総合体育館

2回戦 本校 80-62 松江農林

準々決勝 本校 73-60 出雲

準決勝 本校 50-73 明誠

3位決定戦 本校 57-85 松江商

4位

○大会総評

準決勝の明誠戦では、不甲斐ない場面が多く、精神面の弱さを露呈した。続く3位決定戦でも同じように自信のないプレーが多く出てしまい敗戦となった。しかしこの敗戦から学ぶことは多くあり、今後の課題と

したい。当日は保護者の皆様から応援いただき、有難うございました。(顧問 篠原勝利)

ソフトテニス部

全国選抜中国地区予選

時 1月15～17日

於 ローズアリーナ(福山市)

各県2位リーグ 2勝2敗

本校 0-1 南陽工業(山口)

本校 2-1 明誠学院(岡山)

本校 3-0 米子東(鳥取)

本校 0-3 神辺旭(広島)

〈団体メンバー〉

神田好太郎(22北陵)、岩崎 遥平(15北)

木村 蔵人(13北陵)、青木 快生(14北)

高橋 拓真(13北陵)、陰山 晃成(12北)

川角 悠太(11北陵)、江角 虎哲(14北)

○大会総評

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、無観客での大会であった。実戦経験の不足に不安を抱えていたが、勝負所でその要素が出てしまい、全国選抜の切符を獲得することはできなかった。1年生中心のメンバーであるので、この経験を夏に向けて生かしていきたい。(顧問 佐々木雄志)

吹奏楽部

ウィンターコンサート

時 12月19日

昼の部 14時

夜の部 18時30分開演

於 出雲市民会館大ホール

第14回目となる「ウィンターコンサート」を開催した。本公演は、吹奏楽部の1年を締めくくるコンサートであり、3年生にとっては最後のステージとなる。このコンサートに向け、生徒のみならず保護者会も一丸となり、演奏会の成功を目指し、練習と準備を重ねて本番に臨んだ。特に本年はコロナ禍であり、会場の感染症対策に配慮し、観客の人数制限や座席の指定、演奏時間、ライブ配信など、企画段階から保護者の方々と綿密な打ち合わせを行い、万全の体制で本番に臨んだ。



1部の吹奏楽ステージでは、本年度取り組んだ作品とオリジックを中心に構成した。2部では、3年生のソロ演奏を初めて企画した。3名とも各種コンクールで入賞しており、立派なステージであった。

3部は、「ギャッツ」をテーマにステージドリルを行い、美術科の石倉正先生にご協力をいただき、スベクタクルなショーとなった。

部員達は万感の思いを込めた演奏を披露し、素晴らしいコンサートとなった。当日は多くのお客様にご来場いただき、また多数の方にライブ配信映像もご覧いただき、盛会裏に終えることができた。多方面にわたる皆様のご支援に感謝し、これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらぬ精進していきたい。(顧問 原田 実)

合唱部

第24回クリスマスコンサート

時 12月25日
於 ビッグハート出雲

コロナ禍の中、厳重な感染防止対策を講じ、合唱部クリスマスコンサートを開催した。NHK全国学校音楽コンクールの課題曲である「彼方のノック」、クリスマスソングなど、様々なジャンルの楽曲を披露した。また第2部「北陵合唱部紅白歌合戦」では、紅組の女子は大ヒット中の映画「鬼滅の刃」の主題歌等を、白組の男子は美しいハーモニーで「赤とんぼ」等を披露し、観客を大いに沸かせた。そして第3部では、ミュージカル「レ・ミゼラブル」を様々なヴォーカルアンサンブルやソロで演奏し、観客を魅了した。



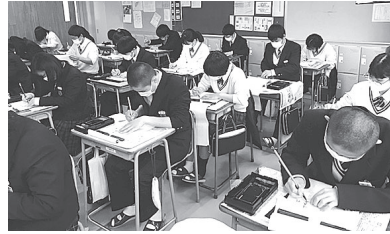
コロナ禍で今年度の合唱コンクールが中止となり、このコンサートが二度目のステージとなったが、様々な制約の中で懸命に練習に励み、素晴らしい歌声を披露することができた。3年生にとっては最後のステージとなったが、それに相応しく、十分に力を尽くしたコンサートとなった。

当日、来場いただいたお客様をはじめ、応援いただいている地域の方々、保護者の皆様に感謝申し上げます。

(顧問 太田裕子)

一斉書写

今年度2回目となる「一斉書写」を1月22日に実施した。本来であれば3年生も実施する予定であったが、雪による休校のため延期となり、残念ながら実施できなかった。1、2年生は新年の決意を新たにし、半紙に向かって集中して取り組んでいた。



創立者 水谷キワ先生 命日墓参

本校創立者水谷キワ先生の命日である1月16日(土)、生徒を代表して、中学新生徒会長内藤亮輔(中2北)、高校新生徒会副会長手銭杏佳(25北)ら4名で大念寺を訪れ墓参をした。朝からの雨もあがり晴れ間も見える中、先輩方が築いた伝統の継承と生徒会の更なる発展を墓前に誓った。



中学校

バスケットボール部

第30回出雲市中学生招待

バスケットボール大会

時 1月23日

於 (男子) 第一中学校体育館
(女子) 平田中学校体育館

【男子】

一回戦 本校 38-40 斐川西中
敗者戦 本校 62-43 平田中
5位

○大会総評

斐川西中戦では、前半にミスが多く13点迫る形で後半を迎えた。後半では全員で集中して守り、粘り強く戦うことができたが、あと1歩及ばなかった。市総体に向けて練習に励みたいと思います。

(顧問 多々納厚比古)

【女子】

一回戦 本校 56-43 河南中
ブロック決勝 本校 26-48 斐川西中

○大会総評

斐川西中戦では、序盤から幾度もチャンスがありながら、ミスを連発してしまった。後半は徐々に疲れが出はじめ、相手チームに走られてしまい、点差を詰めることができず試合終了となった。今回多くのミスがあったものの、練習してきたことが随所に見られたことが収穫であった。今後また練習に励みたいと思います。

(顧問 篠原勝利)

第3回 校外講師特別講座

時 12月22日
於 北陵ホール他



講演していただいた
世界なぎなた選手権
優勝者の安喰愛さん

2学期の保護者会に併せて、全校生徒及び保護者を対象としての特別講座を開催した。今回は本校卒業生で、世界なぎなた選手権大会の個人試合と演技で優勝を果たした島根県体育協会の安喰愛さんをお招きし、「自分と向き合い」の演題でお話いただいた。

講演では「アンパンマンのマーチ」の歌詞から夢や目標を持つことの大切さを伝えられた。そして自分に関心を持つことや失敗を重ねる覚悟を持つことなど、自分と向き合うために大切な7つのことをご自身の経験から語られた。

生徒達は、安喰先生の「目標に向かって人一倍努力する姿」や「自分や他人を思いやる心」に共感していたようだ。

作品と研究

中学校書初め作品より

毎年中学校では書写の時間に書き初めをしています。本年度も、生徒一人ひとりが今年の目標や抱負、大切にしたい言葉を決めて、一年生は初めてとなる行書で書きました。作品の一部を紹介します。

作品①

挑戦

錦織 初

「挑戦」

今年、何事にも挑戦する年にしたいと思い、「挑戦」という言葉を選びました。私は幼い頃から人見知りで、人の前に立つて話したりするのが苦手でした。それ無くすために、私は積極的に授業の時間、挙手をするなどして発言する機会をふやしていきたいと思います。挑戦に、挑んで戦うという意味があるように、私も挑むと同時に自分の心と戦っていききたいです。

作品②

双葉

健司

「双葉」

シヴィキングロバート健司(中1) 僕がなぜこの言葉を選んだかというと、「初心忘るべからず」という言葉を大切にしたいからです。双葉というのは、発芽した後の一番最初に出るものです。つまり、「双葉」というのは「初心」を意味しているのです。僕は英語のつづりを覚えるのが苦手です。それで困っていたとき、初心にかえって簡単なものから勉強することになりました。今は、少しずつ覚えらるようになってきています。だから、これからは初心を忘れないようにしようと思います。

作品③

奮起

古瀬 莞太

「奮起」

古瀬 莞太(中2) 僕は今年「奮起」という漢字を大切にしたいと思っています。なぜなら僕は今年受験生になるからです。受験で合格するには勉強を頑張らないといけません。そのため自分を奮い立たせて勉強に取り組みたいと考えています。今、自分が行きたいと思っている高校は、自分

作品④

完遂

勝部 陽菜

「完遂」

勝部 陽菜(中2) 去年は、自分で決めたことを最後までやり遂げることができなかったのですが、今年は自分で決めたことを最後までやり遂げること、最後まで遂行するという意味の「完遂」という言葉を大切にしたいと思っています。また、今年は受験もあるのに勉強を頑張ります。部活動も今年で最後になるので、悔いなく終われるように何事にも全力で取り組み、完遂したいと思っています。

作品⑤

開拓

三年 奥田林太朗

「開拓」

奥田林太朗(中3) 僕は今年、高校生になります。もちろん人生初の経験なので、高校生活がどのようになるのかは想像できません。でもその未知の世界を、自分の足で、体で「開拓」し、自分の世界をさらに広げていき

作品⑥

矜持

三年 松井美柑

「矜持」

松井 美柑(中3) 私が選んだ大切にしたい言葉は「矜持」です。この言葉には「自信やプライドを持つ」という意味があります。なぜこの言葉を選んだかというと、昨年私はずっと自信を持っていてなくて、思うように力を発揮できなかったり、不安に負けてしまいうことがよくありました。そのため、今年は自信を持って自分の力を発揮し、どんな不安にも負けないようにしたいです。



今月の1枚

「楽しい節分」

石飛 笑夏(3-1)